H29.10.18 「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」活性化部会/アイヌ文化発信ネットワーク会議





## 平成29年10月18日 内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室

# 象徴空間整備の経緯

〇アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、国民各層の幅広い理解の促進の拠点並びに将来に向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点となる「民族共生象徴空間」を 北海道白老町、特に同町ポロト湖畔を中心とする地域に整備。

○2020(平成32)年4月24日一般公開(同年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催)。

#### これまでの経緯

平成19年9月 国連総会において「先住民族の権利に関

する国連宣言」採択(我が国も賛成)

平成20年6月 衆参両院において「アイヌ民族を先住民

族とすることを求める決議」採択

(全会一致)

平成21年7月 内閣官房長官主宰「アイヌ政策のあり方

に関する有識者懇談会」報告において 「民族共生の象徴となる空間」の整備を

提言

平成26年6月 「『民族共生の象徴となる空間』の整備及

び管理運営に関する基本方針」閣議決定

平成29年6月 「『民族共生象徴空間』の整備及び管理運

営に関する基本方針」の一部変更を閣議

決定

「民族共生象徴空間」の整備及び管理運営 に関する基本方針(ポイント)

> 平成26年6月13日 閣議決定 平成29年6月27日 一部変更

- 民族共生象徴空間は、アイヌ文化の復興に関する我が国における中核的な役割を担う。
- 〇 中核区域となる北海道白老郡白老町ポロト湖周 辺に国立アイヌ民族博物館及び国立民族共生公園 を、同町字白老にアイヌ遺骨等の慰霊及び管理の ための施設を、それぞれ整備する。
- 〇 運営主体はアイヌ文化振興法第7条に基づく指 定法人((公財)アイヌ文化振興・研究推進機構) とする。
- 〇 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技 大会に先立ち、平成32年4月に一般公開し、年間来場者100万人を目指す。

# 象徴空間の概要

〇アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンター

・アイヌ文化復興・創造の拠点 ・国民の理解を深めるための拠点

アイヌに関するネットワークの拠点

- 〇北海道白老郡白老町若草町の ポロト湖畔に整備
- 〇2020年4月一般公開
- 〇年間100万人を超える 来場者を目標
- 〇民族共生象徴空間の主要施設
  - ・国立アイヌ民族博物館
  - 国立民族共生公園
  - 慰霊施設



2

## 国立アイヌ民族博物館の概要

#### 整備の基本方針

民族共生象徴空間の中核施設となる博物館として、以下の方針のもと整備

- ●ポロト湖畔の自然景観等, 周辺環境との調和
- ●アイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進する展示・研究拠点
- ●国内外の多様な人々に向けたアイヌの歴史・文化等の発信拠点





#### 施設概要

建設場所:北海道白老郡白老町若草町(民族共生象徴空間内)

延べ面積: 約8,600㎡ 規 模: 地上3階

構 造: 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

## 国立民族共生公園の概要

### 基本理念

○ 自然と共生してきたアイヌ文化を尊重し、国内外から訪れる多様な来園者の理解を促進するとともに、将来へ向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための公園的な土地利用の実現を図る。

### 施設の概要

#### 【伝統的コタン】

・チセ群等の再現によりアイヌの伝統的生活 空間を体感できる施設

#### 【体験交流施設】

- ・概ね500~600名程度収容できる体験交流 ホール
- ・アイヌ語、伝統的生業等を体験できる<mark>体験</mark> 学習館

#### 【工房】

・来園者が工芸の製作を体験できる施設

#### 【芝生広場】

・美しい景観、豊かな自然を活用した憩いの場

#### 【エントランス】

・来園者を安全・円滑に誘導する象徴空間の入口



4

## 慰霊施設

- 現在、全国12大学が1,600体を超えるアイヌ遺骨や副葬品を保管
  - → 関係者の理解及び協力のもとで、象徴空間に集約
  - → ポロト湖の東側の太平洋を望む高台に慰霊施設を整備

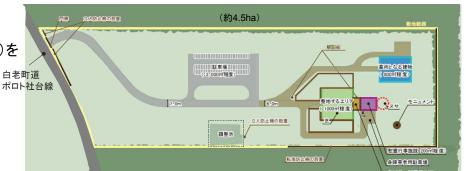
## 施設の目的

- アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現
- アイヌの人々による受入体制が整うまでの間の遺骨等の適切な管理

## 慰霊施設の構成

- 「墓所」となる建物
- 慰霊行事(イチャルパ等)を 行うための施設
- モニュメント
- 前庭(広場)
- 駐車スペース 等

# の適切な管理 【全体配置図】 (モニュダント



※イメージの部分があり、変更の可能性があります。

# 中核区域周辺における環境整備

新たなポロト温泉整備の優先交渉権を星野リゾートグループが獲得



※白老町HP「ポロト地区における温泉施設等整備事業実施者の公募型プロポーザルの選定結果『提案書概要』」より抜粋

## 象徴空間整備に関する予算

## 平成30年度概算要求 7,411百万円 [対前年度比3.73倍]

内 訳	予算額[対前年度比]
中核区域(博物館・公園)の整備および開業準備 【文部科学省・国土交通省】	7, 224百万円 [3.93倍] うち文部科学省 4, 270百万円 国土交通省 2, 954百万円
慰霊施設の整備【国土交通省】	173百万円[1.34倍]
大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続等に 関する調査・研究【文部科学省】	13百万円[1.44倍]